

「平成28年度危険物安全週間」推進行事の実施結果

危険物保安室

消防庁では、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図るため、毎年6月の第2週（平成28年度は6月5日（日）から6月11日（土）までの7日間）を「危険物安全週間」として、危険物保安に対する意識の高揚及び啓発を推進する様々な行事を開催しました。

◇危険物安全大会

6月6日（月）に開催した「危険物安全大会」では、危険物保安功労者等の表彰式及び記念講演が行われ、開式に当たり佐々木敦朗前消防庁長官が式辞を述べました。



危険物保安功労者等の受賞者の皆様

●消防庁長官式辞

平成28年度危険物安全大会表彰式を挙げるに当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

本日の表彰式は、危険物を取り扱う事業所の皆様における保安体制の一層の充実や、国民の皆様の危険物の保安に関する意識の向上を目的とした、危険物安全週間の行事の一環として行うものです。

本日、表彰を受けられる皆様方は、これまで危険物の保安に努めてこられた方々であり、その御功績に対し、深く敬意を表する次第です。

さて、平成27年中の危険物施設における事故発生件数は前年に比べ減少したものの、依然として高い水準にあります。事故原因は、設備の腐食劣化などの物的要因や、維持管理不十分・操作確認の不十分などの人的要因が挙げられます。

危険物事故はひとたび発生すると、甚大な被害をもたらすおそれがあります。

危険物事故を未然に防ぐことが最も重要であることは言うまでもありません。

事故防止に向けた取組をより効果的なものとするため、危険物関係業界・団体、消防関係行政機関等の皆様に御参画いただいている危険物等事故防止対策情報連絡会では、従来の目標を見直し、「危険物等に係る重大事故の発生を防止する」という新しい目標を定めました。

軽微な事故が多数発生するうちに重大事故も発生するとの考え方も踏まえ、各事業所において、きめ細やかな事故防止対策を引き続き実施していただくことが保安体制の充実には不可欠であると考えています。

また、熟練者の退職や設備の自動化などにより、職場の危険予知能力の低下、危険物の性質や装置についての理解不足、緊急時の対応能力の低下等が指摘されるなか、事故防止推進の中核となる人材育成や技術の伝承も今後ますます重要となってまいります。

本日受賞されます皆様方には、引き続き危険物の保安体制の充実強化に向け、更なる御活躍と、地域社会の安全への一層の御貢献を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、御出席の皆様の御健勝と御発展を心からお祈り申し上げます。式辞といたします。



危険物安全大会表彰式における佐々木敦朗前消防庁長官の式辞

●消防庁長官表彰

- 1 危険物保安功労者（個人）
19名
- 2 危険物保安功労者（団体）
2団体
- 3 優良危険物関係事業所
27事業所
- 4 危険物安全週間推進標語
「危険物 決めろ無事故の ストライク」
加藤 義秋 氏
- 5 危険物事故防止対策論文
「石油コンビナート防災体制の充実強化に向けた訓練について」
山口県宇部健康福祉センター
勢登 俊明 氏



危険物保安功労者等の消防庁長官表彰

●記念講演

- 小松原 明哲 氏
 (早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工
 学科教授)
 「ヒューマンファクターズの方法～エラーを防ぎ現場
 力を強化する～」



小松原 明哲 氏による記念講演

◇危険物施設安全推進講演会

6月7日(火)(東京会場)及び13日(月)(大阪会場)に開催された「危険物施設安全推進講演会」では、危険物関係事業所の従業員や消防関係者を対象として、基調講演及び事故事例発表が行われました。

●基調講演

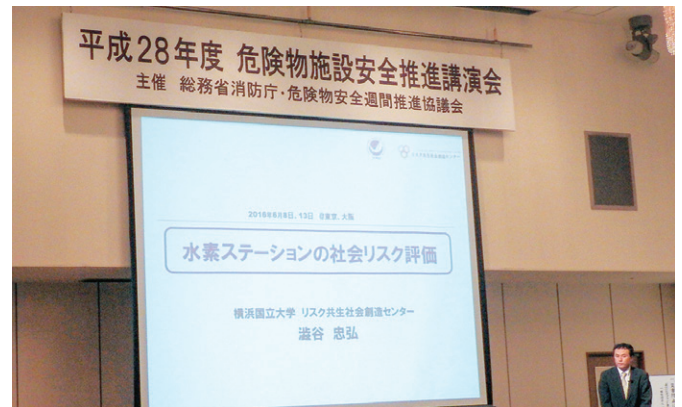
澁谷 忠弘 氏
 (横浜国立大学リスク共生社会創造センター准教授)
 「水素ステーションの社会リスク評価」

●事故事例発表

西 晴樹 氏
 (消防庁消防研究センター火災災害調査部長)
 「地下タンク貯蔵所で発生した重油漏洩事故について」

●災害防止に向けての取組

春山 豊 氏
 (一般社団法人日本化学工業協会常務理事)
 「最近の化学プラント事故からの教訓～日化協の取り組み～」



澁谷 忠弘 氏による基調講演 (東京会場)

このほか、各都道府県及び全国の消防本部においても講演会、研修会、広報・啓発活動、立入検査、消防訓練、表彰式等の様々な行事が行われました。

問い合わせ先

消防庁危険物保安室 企画係 久芳・高野
 TEL: 03-5253-7524